

## 吉嶺十日町病院長と近坂町病院副院長が へき地医療貢献者表彰を受賞されました。

15年以上にわたり、山村・離島等の医療確保に尽力された医師を表彰する「へき地医療貢献者表彰」（全国自治体病院開設者協議会・公益社団法人全国自治体病院協議会主催）において、吉嶺文俊 十日町病院院長と近幸吉 坂町病院副院長の二人が受賞されました。今号はお二人の地域医療への貢献についてご紹介します。

### 吉嶺先生の地域医療への功績

吉嶺先生は、平成14年7月から約11年間にわたって津川病院に勤務され、内科部長及び院長として、過疎化や高齢化が進む東蒲原地域において、へき地医療の推進に尽力されました。

この間、「出向く医療」を実践されるとともに、「ナイトスクール」の実施や「健康ファイル」の考案など、住民の健康増進に貢献されてきました。



▲藤山病院局長(左)から表彰状を贈呈される吉嶺先生(右)



▲臨床研修医を指導される吉嶺先生(左)

平成28年4月には十日町病院の院長に就任し、「医療を通じて十日町地域を支える中核病院。しっかりと急性期医療をこなし、しなやかに包括ケアを支える」をモットーに、職員の先頭に立って病院を運営されています。平成28年度の新外来棟完成を経て、令和2年9月の新病院全部開院に向けた様々な問題に取り組み、妻有地域の2次医療を担う医療機関にふさわしい整備に尽力されました。

また、慢性的な医師不足の中で、医学生に対するオンライン説明会等の積極的なPRや特色ある臨床研修プログラムの設置などの工夫により臨床研修医の確保につなげておられます。

表彰を受け吉嶺先生は「今後も医療を通して、世の中がもっと良くなるよう努めていきたい」とおっしゃっておりました。

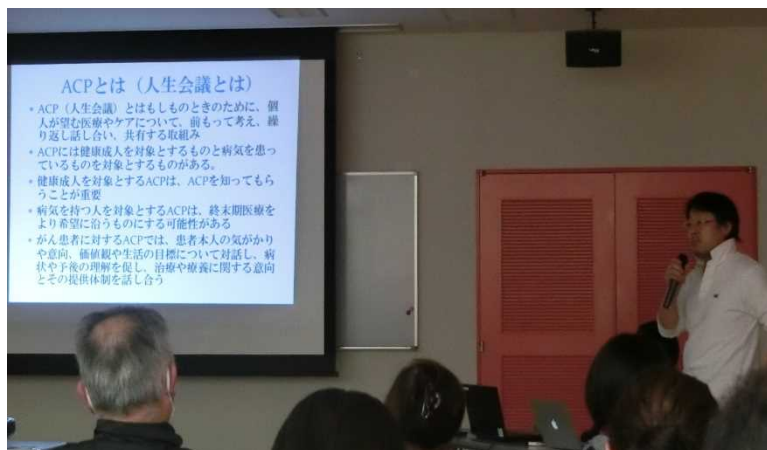
## 近先生の地域医療への功績

近先生は、平成4年4月から2年間松代病院に勤務し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域住民のプライマリケアに取り組み、訪問診療、訪問看護の充実に努められました。

平成8年4月から現在まで約25年間にわたり坂町病院に勤務し、坂町病院の診療圏のみならず、近隣地域の診療所の応援診療も行うなど、医療機関偏在地域において、積極的に地域医療に尽力されています。



▲藤山病院局長(右)から表彰状を贈呈される近先生(左)



▲健康ナイトスクールの講師を務める近先生

坂町病院における訪問診療開始や強化型在宅療養支援病院の届出以降は、近先生が中心となって訪問診療や緊急往診、在宅看取りを実施しておられます。また病院では総合診療外来で多様な症状を訴える患者にも対応されるなど、地域住民のプライマリケアに取り組んでいます。さらに、「健康ナイトスクール」の講師を務め高齢者の健康増進に取り組むほか、医師不足の危機的状況が続く坂町病院において、多くの診療に従事し、住民の命と健康を守っておられます。

表彰を受け近先生は「これから訪れる大変革の時代に持続可能な坂町病院の形を追求していきたい」とおっしゃっております。

### 【編集後記】

吉嶺先生、近先生、へき地医療貢献者表彰の受賞おめでとうございます。新潟県が抱えるへき地医療の課題に真っ向から取り組んでおられることに感服いたしました。先生方が築きあげた地域医療の形がさらに発展していくことを切に願っております。

## マイナンバーカードを取得しましょう！

マイナンバーカードの交付が始まってから約6年近くが経ち、行政サービス等における利便性が少しずつ向上してきています。一方で、新潟県におけるマイナンバーカードの取得率は23.4%（令和3年5月現在）と全国最下位の状況です。

これまでは身分証明書やオンラインでの行政手続きなどの利用方法がありましたが、令和3年10月からは健康保険証としての利用ができるようになり、医療分野においても利便性が向上しました。

今後は確定申告などでの利活用も期待されるなど、様々なシーンでより便利になりますので、ご家族も含め、ぜひマイナンバーカードを取得しましょう！



お問い合わせ先：病院局総務課総務係（Tel.025-280-5552）